

議会運営 鹿児島県蒲生町議会の合併協議に学ぶ

広野町議会と同様に、議員定数12人で2つの常任委員会を組織し、隣接する始良町や加治木町との3町合併を協議・検討している鹿児島県蒲生町議会の議会運営および町村議会広報全国コンクール入選（平成18年度）の議会広報編集方法などを研修しました。

蒲生町には役場のとなりの蒲生八幡神社境内に樹齢1,500年とも言われる日本一の大楠があり、町は「蒲生のクス」をキャッチフレーズに熱気あふれる町づくりを展開しています。



蒲生町のシンボル 大クスノキ

人口が7,000人の蒲生町では、合併の是非を問う住民投票において合併賛成者が過半数を上回り、合併に向けた努力が続けられていますが、近隣の始良町が合併に難色を示しており、前に進まない状況にあります。

これは、人口4万人の始良町が、鹿児島県のベッドタウンとして年々人口が増え、財源が豊かであることが要因とのことです。

国の指導する合併は、合併ありきで、その町村の尊厳を考えていないような気がします。

今後も合併による、メリット、デメリットを調査研究して、単なる町村減らしではなく、地域住民が望んでいるものは何なのかということを経験する必要があります。



蒲生町議会研修

25日～26日	静岡県伊東市訪問
30日～2月1日	双葉地方町村議会議長 行政調査
2月	
4日～6日	議会運営委員会視察研修
12日	総務文教常任委員会
13日	産業厚生常任委員会
15日	双葉地方広域圏議会保 健康常任委員会
19日	双葉地方広域圏議会消防 厚生常任委員会
19日	双葉地方広域圏議会消防 厚生常任委員会
22日	双葉地方広域圏議会総 務常任委員会
25日	双葉地方広域圏議会議 会運営委員会
26日	水道企業団議会定例会 県議長会（第2回）定 期総会
28日	双葉地方町村議会議長・ 議会議務局長合同会議 双葉地方広域圏議会第 1回定例会
3月	
4日	議会運営委員会
6日～14日	3月定例会

総務教文

電源開発(株)松浦火力発電所で 下水汚泥のリサイクル※を学ぶ

双葉地方の公共下水道や農業集落排水から排出される下水汚泥等は、双葉地方広域市町村圏組合の汚泥リサイクルセンターで炭化処理されていますが、一部を除き、有効利用にはいたっていません。

一方、電源開発(株)松浦火力発電所においては、公共下水道から排出される下水汚泥等と廃食用油を混合して乾燥させた、乾

燥下水汚泥燃料(バイオソリッド燃料)と石炭との混焼運用を平成18年4月から開始し、CO₂(二酸化炭素)排出量の削減および未利用資源の有効利用に努めています。

多くの自治体が注目している事例ですが、実際のところ、全石炭燃料に対するバイオソリッド燃料の消費量(付加量)は、1%程度に過ぎず、まだまだ研

究の途中にあると感じました。

今後いっそう研

究が進み、双葉地

方から排出される下水汚泥等が、広野火力発電所においてバイオマス燃料として石炭と混焼運用され、CO₂の削減や廃棄物のリサイクルに寄与することを切に願います。



バイオソリッド燃料と石炭の混焼施設を視察

※リサイクル

資源の有効利用、環境汚染防止のために、廃物を原料として再生し利用すること。または、まだ使える不用品を他の人に提供して、活用をはかること。



バイオマス燃料貯蔵施設

議会の動き

1月

10日 議会運営委員会

広報委員会

双葉地方町村議会議長会議

11日 双葉地方町村議会議長

会要望活動

15日 臨時議会

部分林買上げに関する

調査特別委員会

16日 東京電力(株)社長との意

見交換会

第1回双葉地方土地開

発公社理事会